



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2020

No.25 (2020年11月17日発行)

HUG ゲームを体験しました!!

令和2(2020)年10月8日(木)の放課後に、SGHクラブ国内班1、2年生および生徒会役員でHUGゲームを実施しました。現在国内班は防災のまちづくりを研究しており、その研究の一環で実施する運びとなりました。当日は生徒会の皆さんにも協力してもらい、盛り上がりを見せました。

【HUGゲームとは】

Hinanjyo Unei Game(避難所運営ゲーム)の頭文字を取ってHUGゲームと名付けられました。避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

またHUGとは英語で「抱きしめる」という意味もあります。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けられたそうです。2011年の東日本大震災でも運営に役立ったそうで、他校でも教員の研修に使われているほどです。



に本校の平面図を用意しました↓



このようなカードがたくさんあり、避難者の情報が事細かに書かれています。

まずは実際に参加者をいくつかのグループに分け、役割分担を行いました。昨年度同ゲームの実施経験のある国内班2年生がファシリテーターとなり、災害や現場の状況、次々と避難所にやってくる被災者の情報を読み上げました。その他の生徒たちは避難所運営側となり、被災者1人1人をどこに配置するかや受付をどこにするか等グループで話し合いました。約2時間行いましたが時間が足りず、途中で終了となりました。

その後フィードバックを兼ねて各班の避難所配置を互いに見学しました。グループごとに避難者の配置の仕方に違いが見られ、各生徒の視野が広がったのではないかと思います。

実際の様子↓



生徒の感想

最初は勝手が分からなかったが、途中からは段々慣れることができた。特に困ったのが、トイレ関係だったので、実際に災害が起きた時は、優先して解決するべきなのだと感じた。車で来てくれた家族は本当に助かるので、私も避難する際は、なるべく車で避難するようにしたいと思う。

1年1組 大出 紗也佳

次々に来る避難者への対応をそれぞれが持つ事情に合わせて考えるのが難しかった。それに加え、イベント解決などしなければいけないことが増え、作業が停滞してしまう時があり、実際はこれ以上に大変なことがあるんだと避難所運営の難しさを痛感した。

1年1組 篠原 彩純

このゲームをしたのは初めてでしたが、多くの情報を整理する必要がある、とても難しかったです。先輩方は、天候やアレルギーのことまで考慮してゲームを進めており、そんなところまで考えなければならぬのだと驚きました。

1年1組 長島 苑

避難所の運営をするのは簡単だと思っていましたが、次々とやってくる避難者やハプニングで大変でした。時間も少なく、人の配置をするのが難しかったです。このゲームは避難所運営と一緒に決断力を学べます。

1年2組 藤原 遼大

避難所運営について防災用語を知らながら楽しく学ぶことができました。

1年3組 慶野 正汰

避難するときに大切なこと、必要なものを知ることができました。避難する時に困らないように避難グッズなどを備えておくことが大切だと思いました。

1年3組 中田 脩太

自分が思っていた以上に難しくとても驚いた。自分たちが実際に避難所を運営するとしたら、想定外のことが多く起こると思うし、今日以上に大変なのだろうなと思った。

2年1組 五十部 綾乃

2回目のHUGゲームだったが、前回同様頭をたくさん使ったので疲れた。ゲームだけでこんなに疲れるのに、実際避難所で活動したら、相当大変だと思った。

2年1組 岡田 萌花

去年よりは要領よく誘導できたと思う。実情に合った判断をすることは案外難しいと感じた。

2年1組 津久井 友貴

テスト終わりの疲れた脳みそを使って行ったので、実際に災害が起きたときの疲れた状態に近く、リアリティーが増したのかな、と思いました。少し疲れているだけでも運営に苦労したので、本当に災害が起きて本物の避難所を運営するのはもっと大変だろうと感じました。

2年2組 赤塚 真理

身体に負傷がある人、持病がある人、幼い子どもなど様々な境遇を持った人がいて、災害の状況下でそれぞれのことを考えるということが難しかったです。いろいろな視点で物事を見る必要があったため、とても有意義な経験をすることができました。

2年2組 山崎 理紗子

自分は2回目の経験だったので新しい発見が多かった。また、佐高の図でやったのでとても身になった。

2年3組 猪瀬 遥大

HUGをやって、その場の状況に応じて対応する難しさが分かった。避難のシミュレーションをするのは大切だと思った。

2年4組 亀田 晃聖